

一宮市高潮ハザードマップ

Storm surge hazard map

一宮市総合政策部危機管理課 〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号 0586-28-8959 令和5年3月作成

保存版

高潮ハザードマップについて

高潮ハザードマップは、台風や低気圧等により高潮が発生した場合に浸水が想定される範囲と緊急避難場所等を示したものです。浸水想定区域は、あくまでも想定であり、局所的な地形の影響等により、浸水想定区域外(色が付いていないところ)での浸水が発生することや、浸水深が深くなることもあります。

【愛知県高潮浸水想定区域図の説明】

本マップには、水防法第14条の3に基づき、想定し得る最大規模の高潮を想定した愛知県高潮浸水想定区域図の浸水深等を示しています。

最悪の事態を想定し、日本に上陸した既往最大台風である室戸台風規模の気圧を有する台風が、三河湾・伊勢湾沿岸に大きな影響を与える複数の経路を設定し、堤防・水門等は設計条件に達した段階で決壊するものとしてシミュレーションが実施されており、これらの結果の最大となる浸水区域、浸水深を抽出したものです。

【台風規模】 室戸台風級 上陸時 中心気圧910hPa 移動速度73km/h

高潮ハザードマップの使い方

- ① 自宅や勤め先、学校などの周辺の危険箇所をハザードマップで確認しましょう。
- ② あらかじめ、避難場所や避難経路、家族との連絡手段などを話し合ひましょう。
- ③ いざというときの安全な避難行動、日頃からの備えを確認しましょう。

高潮ハザードマップと洪水ハザードマップ

- **高潮ハザードマップ**
高潮の影響により浸水が想定される範囲と緊急避難場所等の施設を示したものです。(本紙)
- **洪水ハザードマップ**
堤防の決壊や越水などによる河川の氾濫により、浸水が想定される範囲と緊急避難場所等の施設を示したものです。(令和3年3月25日発行)

高潮発生時に出される情報(タイムライン)と避難行動

危険度の高まりに応じて、段階的に発表・発令される情報と避難行動

警戒レベル	気象庁等の情報	市が発令する避難情報等	市民のみなさんがとるべき行動
1	早期注意情報(警報級の可能性)		災害への心構えを高める
2	高潮注意報		高潮ハザードマップ等で避難行動を確認 避難情報が出ていない場合でも、身の危険を感じたら、すぐに避難しましょう。 あわせて洪水も注意しましょう。
3	高潮警報に切り替える可能性が高い高潮注意報	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 高齢者や身体の不自由な方は、避難を開始しましょう。 浸水が想定されている場所からは、準備が整い次第、避難を開始しましょう。 その他の方は、避難の準備をしましょう。 正確な情報を入手しましょう。
4	高潮警報 高潮特別警報	避難指示	危険な場所から全員避難 風雨が強くなる前に安全な場所へ避難しましょう。 自宅から外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、自宅内より安全な場所に避難しましょう。 お互いに助け合って避難しましょう。
5		緊急安全確保	危険な場所からまだ避難できていない方は、命の危険、直ちに安全確保 高潮災害が起きないと思われているような場所でも危険度が高まる異常事態であることを踏まえて対応しましょう。

高潮災害時の避難について

一宮市は、海岸から離れた内陸部ですが、河川からの高潮の浸水被害が想定されています。規模の大きな台風や低気圧等が接近する可能性がある場合は、事前に浸水想定区域外、もしくは、頑丈な建物の浸水深より上層階に避難してください。風雨が強くなり避難が困難になる前に避難してください。また、あわせて洪水ハザードマップも確認してください。

避難の原則

原則として
水平避難(立退き避難) 浸水しない地域へ避難

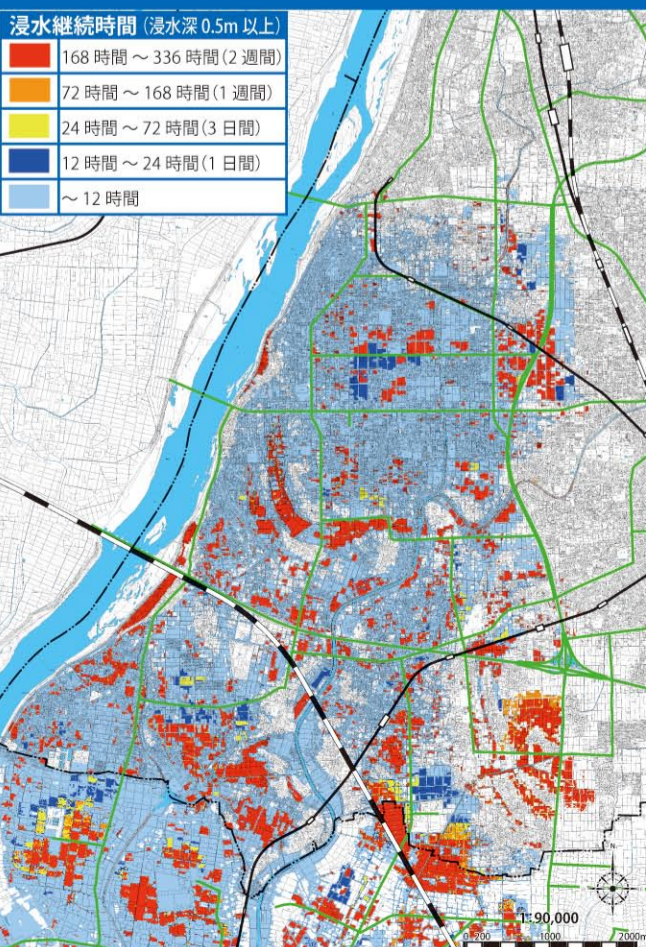
- 可能な限り、水害発生前に親戚や知り合い等のいる浸水しない地域へ避難しましょう。
- 避難の際は、自動車(マイカー)は使わず、公共交通機関や徒歩で移動しましょう。

立退き避難が困難な場合・逃げ遅れた場合
垂直避難(屋内安全確保) 浸水しない階へ避難

- やむを得ず、自宅等に滞在する場合、浸水が長く続くことに備えて、日頃から3日以上備蓄品を準備しておきましょう。

※浸水の深さ以上の階数を有する頑丈な建物の場合は、自宅等に留まることも可能です。

浸水継続時間



高潮とは?

一宮市への高潮の影響

一宮市は海から離れており、高潮の影響は無いと思われる方も多いと思いますが、高潮によって海水が川を逆流し、河川も氾濫して堤防が決壊した場合、海岸から離れた内陸部まで浸水被害が拡大することもあります。

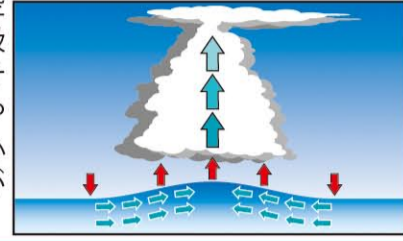
愛知県は、広大なゼロメートル地帯を有しており、高潮の影響が相当な距離まで及びます。愛知県高潮浸水想定では、木曾川等の河川からの氾濫により、最大浸水深3.4mの浸水が想定されていますので、十分な注意が必要です。

高潮発生仕組み

高潮とは、台風や発達した低気圧等が接近するときに、海面が著しく高くなる現象です。高潮で潮位が高くなっているときに高波が押し寄せると、海水が堤防を越える場合があり、浸水の被害をもたらすおそれがあります。特に、高潮の被害を受けやすい場所として、海岸近くのゼロメートル地帯、湾奥部、急深な海底地形を持つ海岸などがあります。高潮が発生するメカニズムとして、主に次の2つが挙げられます。低気圧による海面の吸い上げと、風による吹き寄せです。

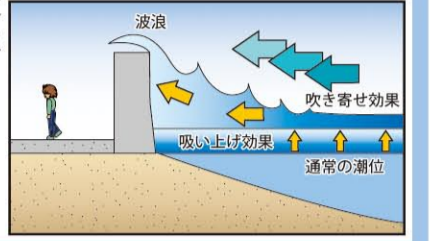
● 気圧低下による海面の吸い上げ

台風や低気圧の中心は、周辺部より気圧が低いので、気圧の高い周辺部の空気が海水を押し付け、中心部の空気が海面を吸い上げます。その結果、台風や低気圧の中心部の海面が高くなります。



● 風による吹き寄せ

台風や低気圧による強風が海岸部に向かって吹き続けると、海水が海岸部に吹き寄せられるため、海岸付近の海面が上昇します。



高潮と津波の違い

高潮と津波の大きな違いは、その発生要因にあります。高潮は台風や低気圧等によって発生するのに対し、津波は地震や海底火山の活動に伴い発生します。津波の要因となる地震や火山活動に比べて、台風や低気圧等は観測しやすいことから、高潮の発生の方が予測しやすいという特徴があります。

情報の入手先と情報伝達経路

調べる情報(PULL)

テレビやラジオ、インターネットから積極的に気象情報や避難情報を入手しましょう。高潮ハザードマップに記載されている指定緊急避難場所は作成当時から変更される場合があります。最新の情報は、一宮市公式ウェブサイトをご確認ください。

防災情報の入手先

- **一宮市公式ウェブサイト**
避難情報や避難場所の情報、各種ハザードマップ等を提供しています。
<https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/>
- **一宮市防災情報公式 Twitter**
防災情報の発信やハッシュタグを利用した市内の情報を確認できます。
アカウント名: @138_bousai 一宮市防災情報
https://twitter.com/138_bousai
- **気象庁**
市内の警報、台風の動き等、様々な防災情報を確認できます。
<https://www.jma.go.jp>
- **一宮市地図情報サイト138マップ**
高潮ハザードマップ・洪水ハザードマップ等が場所を特定して確認できます。
<https://www.sonicweb-asp.jp/ichinomiya/>
- **Yahoo! 防災速報アプリ**
市からの緊急情報を受信できます。
<https://emg.yahoo.co.jp/>

受け取る情報(PUSH)

一宮市の「あんしん・防災ねっと」について

このサービスはスマートフォンや携帯電話から、情報を受け取ることができます。災害関連情報を配信する災害緊急メールだけでなく防災・交通安全等の多岐にわたって情報を受け取ることができます。一宮市公式ウェブサイトのページID検索に「1000571」と入力して検索してください。

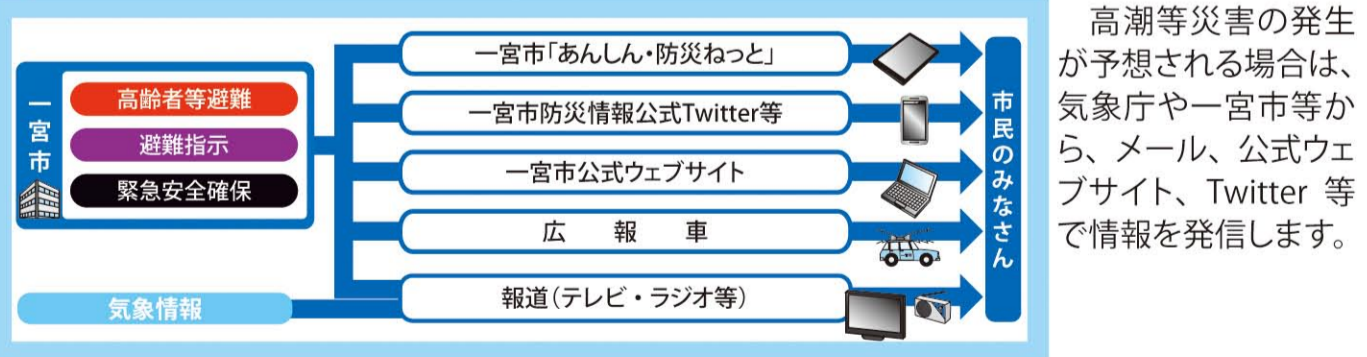
- **閲覧方法** <http://ichinomiya-city.site.ktaiwork.jp/>
- **登録用アドレス**
メールでの配信を受け取る場合は以下の登録用アドレスに空メールを送信し、登録を行ってください。
i.anshin@138bousai.jp
※迷惑メール対策をされている方は、[138bousai.jp]ドメインからのメール及びURL付きのメールを許可してください。
※パソコンのメールアドレスでも災害時緊急メール等の登録はできますが、ご自分でメールの受信を確認してください。
登録方法については右記お問い合わせ窓口へお尋ねください。平日 午前9時～午後5時 **0120-27-0933 株式会社アルカディア コールセンター**

一宮市緊急速報メール(エリアメール)

通信事業者のサービスを利用し、市内滞在の方を対象に情報配信を行っています。受信設定をONにしてください。詳しい受信設定方法や対応機種については、通信事業者各社のウェブサイトでご確認ください。 ※対応していない機種もあります。

災害時の情報伝達経路と発表される情報

情報伝達の流れ



避難の心得

いざというときに、すばやく避難できるように、日常より準備を行い、災害の危険性が想定された場合は、正確な情報を入手して行動しましょう。

- 状況により、すばやく避難**
- 車での避難は禁止、避難は徒歩で**
- 避難時は火元に注意し、ガス栓や電気ブレーカーを切って避難**
- 動きやすい服装で、靴はスニーカー等(長靴は避ける)**
- 安全なルートで避難を(川や水路の近くは避けて、できるだけ広い道を)**
- 非常持ち出し品は必要最小限に**